

福井県大野市平家平の両生・爬虫類相とその保全

大迫義人¹・三原 学²

はじめに

福井県における陸生両生・爬虫類は、それぞれ 2 目 7 科 19 種, 2 目 7 科 15 種が記録されているが(福井県自然環境保全調査研究会 両生類・爬虫類・陸産貝類部会 1998), 分布・生息状況については情報の少ない分類群である。

福井県大野市の平家平は、極相林の存在する比較的良好な自然環境が残されており(福井県自然環境保全調査研究会 1985), 市によって保全されてゆく予定の場所である。ここで、1997 年度から 1999 年度

の 3 年間に、生息する両生・爬虫類の種および希少種の生息状況について調査を行なったので、その結果を整理し平家平の両生・爬虫類相の特徴と保全についてまとめてみた。

調査地と方法

調査は、福井県大野市巢原 21 字外にある平家平(35°49'30"N, 136°29'30"E)で行なった。平家平は、周囲を 1,000m 級の山々、たとえば南西に倉の又山(標高 1,215.6m)、南東に姥ヶ岳(標高 1,453.6m)に

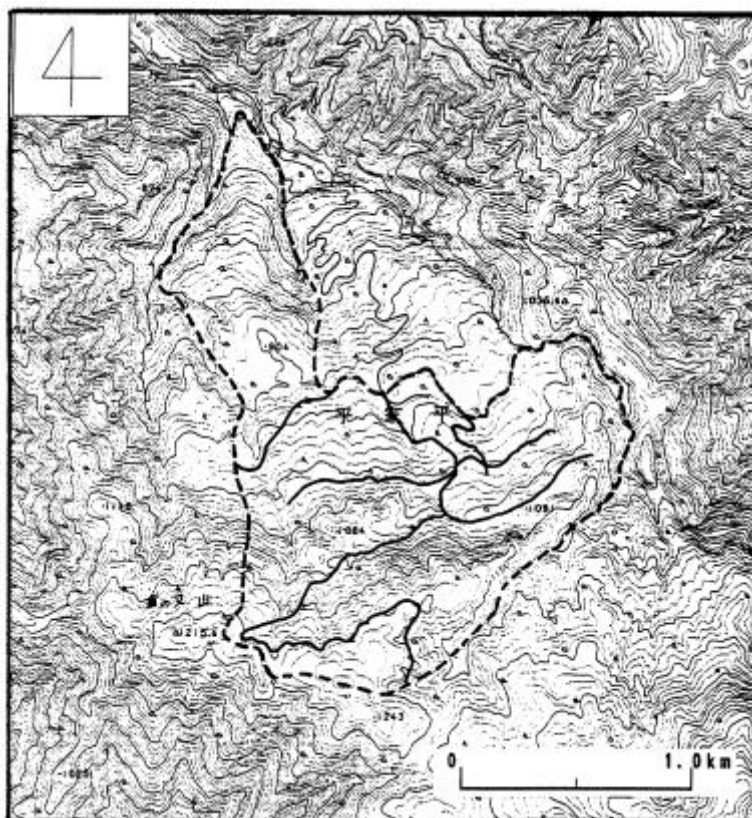


図 1. 平家平の範囲(波線内)と調査定線(実線).
Fig. 1. Study area, and routes for survey and capture.

1: 姫路工業大学自然・環境科学研究所.

〒 668-0814 兵庫県豊岡市祥雲寺 128 コウノトリの郷公園内

E-mail yosako@hyogo-c.ed.jp

2: 〒 912-0131 福井県大野市南六呂師 46-7

E-mail mihara@mitene.or.jp

囲まれた，標高 620 ~ 1,240m の，面積約 196ha の平坦地である（図 1）．この植生は，ブナ原生林およびブナ - ミズナラ林に優占される夏緑広葉樹林帯で，ブナ *Fagus crenata*，ヒトツバカエデ *Acer distylum*，マルバマンサク *Hamamelis japonica obtusata*，オオバクロモジ *Lindera umbellata membranacea*，オオカメノキ *Viburnum furcatum*，タムシバ *Magnolia salicifolia*，チシマザサ *Sasa kurilensis*，エゾユズリハ *Daphniphyllum macropodum humile*，ヒメモチ

Ilex leucoclada，オクノカンスゲ *Carex foliosissima*，ツルシキミ *Skimmia japonica intermedia repens*，ハイヌツゲ *Ilex crenata paludosa*，ウシカバ *Ilex sugerokii* などの日本海固有要素を含むオオバクロモジ - ブナ群集の安定した極相林が存在している（福井県自然環境保全調査研究会 1985）．

調査は，1997 年 6 ~ 10 月の 4 日，1998 年 4 ~ 10 月の 10 日，1999 年 5 ~ 10 月の 5 日の 5:00 ~ 17:00 の間に（表 1），調査地内の林道を中心に踏査し，または任

表 1. 福井県大野市平家平での両生類・爬虫類相の調査日時．

Table 1. Dates of study of the amphibian and reptilian faunas at the Heikedaira area, Ono City, Fukui.

a) 1997 年度

調査方法	月 日			
	6 月 10 日	7 月 6 日	8 月 23 日	10 月 19 日
任意観察	11:00 ~ 17:00	07:25 ~ 08:45	10:00 ~ 17:00	12:15 ~ 14:45

b) 1998 年度

調査方法	月 日							
	4 月			5 月		6 月	7 月	
	3 日	18 日	25 日	3 日	5 日	13 日	11 日	12 日
定線観察	09:30 ~ 12:00	13:30 ~ 16:00	12:00 ~ 16:00	09:45 ~ 14:45 15:40 ~ 17:20		14:30 ~ 17:30	15:10 ~ 17:00	09:00 ~ 10:00
任意観察				06:00 ~ 19:00	05:30 ~ 13:00		06:13 ~ 22:30	05:00 ~ 13:30

調査方法	月 日	
	9 月 27 日	10 月 30 日
定線観察	13:30 ~ 15:00	13:15 ~ 14:15
任意観察	05:30 ~ 19:00	

c) 1999 年度

調査方法	月 日				
	5 月 2 日	6 月 6 日	8 月		10 月 9 日
			7 日	8 日	
任意観察	06:00 ~ 19:00	06:00 ~ 12:15	05:00 ~ 19:00	05:00 ~ 18:30	06:00 ~ 18:00

意に，死体も含む卵塊，幼生，幼体，成体を発見し，または採集して種を記録した．なお，種の同定と分類名は，松井（1985），前田・松井（1989）および日高（1996）を参照した．

結 果

記録された種と学名は表 2 にまとめてある．

1. 記録種とその希少性

両生類

定線観察で 2 目 5 科 7 種，任意観察で 2 目 5 科 6 種の計 2 目 5 科 8 種が記録された（表 2）．記録された種のほとんどは低山帯の森林を主な生息地とする種で，希少性の高い種は確認されなかった．

ヒダサンショウウオは幼体と成体を，ハコネサンショウウオは成体を，アズマヒキガエルとナガレヒキガエルは卵塊，幼生および成体を確認した．

爬虫類

定線観察で 1 目 4 科 4 種が，任意観察で 1 目 3 科 4 種の計 1 目 4 科 5 種が記録された（表 2）．さらに，シマヘビ *Elaphe quadrivirgata* が，調査地近くにある森林組合の作業小屋で 1998 年 5 月 5 日に目撃されたことより，本種も生息している可能性が高かった．記録された種のほとんどは低山帯の森林を主な生息地と

する種で，希少性の高い種は確認されなかった．

2. 観察時期

両生類の卵塊が観察された時期は，アズマヒキガエルで 4 月 18 日，25 日（1998 年），ナガレヒキガエルで 5 月 3 日，5 日（1998 年）で，モリアオガエルで 4 月 25 日，5 月 3 日（1998 年），6 月 10 日（1997 年），7 月 12 日（1998 年）であった．また，平家平の手前の巢原川橋下流の林道脇では，4 月 3 日（1998 年）にアズマヒキガエルの卵塊が観察された．

両生類の幼生が観察された時期は，ヒダサンショウウオで 5 月 3 日（1998 年），8 月 7 日（1999 年），9 月 27 日（1998 年），アズマヒキガエルで 4 月 25 日，5 月 3 日（1998 年），ナガレヒキガエルで 6 月 13 日（1998 年），モリアオガエルで 7 月 12 日（1998 年）であった．

3 年間で，11 月には，鳥類と哺乳類の調査のために計 11 日調査地へ入ったが，両生類と爬虫類を観察することはなかった．

考 察

平家平の，両生・爬虫類相の特徴と保全

3 年間で記録された両生類は，計 2 目 5 科 8 種であった（表 2）．この種数は，福井県で記録されている種数（福井県自然環境保全調査研究会 両生類・爬虫

表 2. 福井県大野市平家平で記録された両生類・爬虫類のリスト．

Table 2. List of amphibians and reptiles recorded at the Heikedaira area, Ono City, Fukui.

目	科	種名	学名	希 少 性			記録方法			
				レッドリスト ¹	種の保存法 ²	文化財保護法 ³	定線観察	任意観察		
両生綱										
有尾	イモリ	ニホンイモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>							
		サシヨウウオ	ヒダサンショウウオ	<i>Hynobius kimurae</i>						
			ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i>						
無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>							
			ナガレヒキガエル	<i>Bufo torrenticola</i>						
			アカガエル	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>					
				タゴガエル	<i>Rana tagoi</i>					
			アオガエル	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>					
2目	5科	8種		0種	0種	0種	7種	6種		
爬虫綱										
有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>							
			トカゲ	ニホトカゲ	<i>Eumeces latiscutatus</i>					
				ヘビ	シムクリ	<i>Elaphe conspiciolata</i>				
					ヤマカガシ	<i>Rhyadophis tigrinus</i>				
					クサリヘビ	ニホンムシ	<i>Agkistrodon blomhoffii</i>			
1目	4科	5種		0種	0種	0種	4種	4種		

1:環境省による，絶滅の程度に関するランク（1998 年現在）．

2:環境省の「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」による福井県での指定（1998 年現在）．

3:文化庁の「文化財保護法」による福井県での指定（1998 年現在）．

表 3. 福井県大野市平家平で記録された両生類・爬虫類の観察時期.

Table 3. Seasonal change in the amphibian and reptiles species recorded at the Heikedaira, Ono City, Fukui.

目	科	種名	学名	調査日と(調査日数)							
				4月 (3)	5月 (3)	6月 (3)	7月 (3)	8月 (3)	9月 (1)	10月 (3)	
Order	Family	Species	Scientific name								
両生綱											
	有尾	イモリ	ニホンイモリ	Cynops	pyrrhogaster						
	サンショウウオ		ヒダサンショウウオ	Hynobius	kimurae						
			ハコネサンショウウオ	Onychodactylus	japonicus						
	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	Bufo	japonicus formosus	+					
			ナガレヒキガエル	Bufo	torrenticola		+				
		アカガエル	ヤマアカガエル	Rana	ornativentris						
			タマガエル	Rana	tagoi						
		アオガエル	モリアオガエル	Rhacophorus	arboreus	+	+	+	+		
2目	5科	8種		3種	6種	6種	3種	4種	2種	1種	
爬虫綱											
	有鱗	カサハヒ	ニホンカサハヒ	Takydromus	tachydromoides						
		トカゲ	ニホトカゲ	Eumeces	laticutatus						
		ヘビ	ジムグリ	Elaphe	conspicillata						
			ヤマカガシ	Rhyadophis	tigrinus						
		クサリヘビ	ニホンムシ	Agkistrodon	blomhoffii						
1目	4科	5種		0種	0種	1種	3種	4種	0種	2種	

注) + : 卵塊、 : 幼生、 : 幼体または成体

類・陸産貝類部会 1998) の 44.4%であった。また、3年間で記録された爬虫類は、計 1 目 4 科 5 種であった(表 2)。この種数は、福井県で記録されている陸産種数(福井県自然環境保全調査研究会 両生類・爬虫類・陸産貝類部会 1998) の 33.3%であり、少ない種数であった。

当地は標高 620 ~ 1,240m (図 1) であるため、記録された多くの種は低山性であった。そのうち、アズマヒキガエル、ナガレヒキガエル、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、ジムグリは、福井県において生息情報の少ない種である(福井県自然環境保全調査研究会 両生類・爬虫類・陸産貝類部会 1998)。

記録された種以外に、両生類ではニホンアマガエル *Hyla japonica*、カジカガエル *Buergeria buergeri* が、爬虫類ではタカチホヘビ *Ackalinus spinalis*、アオダイショウ *Elaphe climacophora*、シロマダラ *Dinodon orientalis*、ヒバカリ *Amphisma vibakari* などが分布している可能性がある(福井県自然環境保全調査研究会 両生類・爬虫類・陸産貝類部会 1998)。

当地において、両生・爬虫類相の分布調査は行なわれてこなかった。今回の調査で 5 種の生息情報の少ない種が記録され、さらに 8 種もの生息可能種が未記録であることは、調査を継続する必要性があり、そのための施設を造ることが求められる。

謝 辞

この調査は、大野市平家平自然現況調査委員会で行われたものであり、当委員会より調査における協力・援助をいただいた。また、岡友章、古園由香、杉野由佳、寺山明孝、中井信介(50音順、敬称略)には、調査を手伝っていただいた。ここに記して感謝する。

要 約

1997~1999 年度の 3 月を除く 2 月から 10 月まで、福井県大野市の平家平において両生・爬虫類相とその生息状況について調査を行なった。定線観察と任意観察の計 19 日の調査で、計 2 目 5 科 8 種の両生類と計 1 目 4 科 5 種の爬虫類が記録され、そのほとんどは低山帯を主な生息地とする種であった。そのうち、アズマヒキガエル、ナガレヒキガエル、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、ジムグリは、福井県において生息情報の少ない種であった。記録された種以外に、両生類ではニホンアマガエル、カジカガエルが、爬虫類ではタカチホヘビ、アオダイショウ、シロマダラ、ヒバカリなどが分布している可能性がある。今回の調査で 5 種の、福井県において生息情報の少ない種が記録され、さらに 8 種もの生息可能種が未記録であることは、調査を継続する必要性があり、そのための施設を造ることが求められる。

引用文献

- 福井県自然環境保全調査研究会（編）. 1985. 50 姥ヶ岳地区. みどりのデータ・バンク総括報告書 :144-146
- 福井県自然環境保全調査研究会 両生類・爬虫類・陸産貝類部会（編）. 1998. 福井県の両生類・爬虫類・陸産貝類目録. 141pp. 福井県.
- 日高敏隆（監）. 1996. 日本動物大百科, 5 両生類・爬虫類・軟骨魚類. 189pp. 平凡社, 東京.
- 前田憲男・松井正文. 1989. 日本カエル図鑑. 206pp. 文一総合出版, 東京.
- 松井孝爾. 1985. 自然観察シリーズ 22. 日本の両生類・爬虫類. 158pp. 小学館, 東京.